



[ホーム](#) > [市民レポーター](#) > [ツミの受難](#)

ツミの受難

ツミと言っても、わからない方が多いと思います。鷹科・30cmくらいの大きさの野鳥です。市内の某所で、ツミが毎年、栄巣をし、野鳥ファンもさながら、近所の散歩をする人も楽しみにしています。カルガモもそうですが、沢山の雛が巣立っていく課程を間近で見れるのも、自然が豊富な証拠ですね。

27日の未明に、誰ものかの仕業で、ツミの巣を枝ごと切り落とされる事件がありました。巣のある枝を、元からノギリで切っています。早朝、気がついた野鳥ファンの方や近所の方が、一生懸命に雛を探し、雛を別の木に移し、3羽のうち2羽は保護しました。親は心配そうに見守っていましたが、給餌を初めてホッとしています。しかし、1羽はまだ見つかっていません。猫やカラスの餌食になってしまったのだろうか？

誰が何のためにするのか？心無き人が居ることに、腹立たしさを覚えます。野鳥には罪はないのです。そして、暖かく見守っている人達の心も傷つけています。絶対にあってはいけない事です！最後に、バード・フォト・クラブや地元のご近所の方々には、保護の感謝を申し上げます！ありがとうございます。

市民記者 マーボ



親が心配そうに見ています。



巣ごと切り落とされた松の木。



2羽の雛は、順調に育っています。